



平成 30 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二  
(コード番号：7707 東証マザーズ)  
問合せ先 管 理 部 長 福井 三佐子  
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

### グライコバイオマーカー・リーディング・イノベーション株式会社との共同研究契約締結について

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（以下、PSS）は、グライコバイオマーカー・リーディング・イノベーション株式会社（以下、GL-i）と共同研究契約を締結いたしました。

GL-i は国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）技術移転ベンチャーとして、産総研で開発されたグライコバイオ(糖鎖)マーカー計測技術に関する研究成果の実用化（臨床検査薬）を推進しています。これまでグライコバイオマーカー計測工程の自動化を中心に、両社で検討して参りましたが、このたび共同研究契約を締結し、以下の研究を進めることで合意いたしました。

#### <共同研究実施項目>

1. 精密測定技術の開発：生体試料中に存在する微量のグライコバイオマーカーを精密に測定するシステムの開発
2. ウィルス濃縮法の開発：グライコバイオマーカー結合プローブ固定磁気ビーズを用いたウィルス濃縮法の確立及び濃縮自動化システムの開発

GL-i の有する糖鎖<sup>※</sup>解析技術及び糖鎖を用いたマーカー選択・濃縮技術と、PSS の独自自動化技術を組み合わせ、共同で開発を進めることにより、これら技術を集約した臨床検査機器、専用臨床検査薬の上市を加速、推進して参ります。

以上

※ 糖鎖 細胞の表面やタンパク質、脂質上に存在する単糖が鎖状につながった化合物。糖鎖はからだの組織を構成する細胞の状態変化（分化度や疾患・癌化）により構造を変えるため、“細胞の顔”や“細胞の洋服”と例えられる。この違いをバイオマーカーとして利用した診断薬の開発が期待されている。

**【GL-i 概要】**

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）技術移転ベンチャー。産総研で開発されたグライコバイオマーカー計測技術を活用し、その実用化（臨床検査薬）に向けて研究・開発を行っている。

本社所在地： 〒305-8568 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第二 2-12 棟

代表取締役 CEO： 竹生 一行

ウェブサイト： <http://www.gl-i.co.jp/>

**【参考：GL-i プレスリリース】**

グライコバイオマーカー計測工程の自動化を目指し PSS との共同研究を開始

<http://www.gl-i.co.jp/news/20180201.html>